

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 60-061079

(43)Date of publication of application : 08.04.1985

(51)Int.Cl.

B05D 1/28

B05D 3/04

(21)Application number : 58-170038

(71)Applicant : SANYO KOKUSAKU PULP CO LTD

(22)Date of filing : 14.09.1983

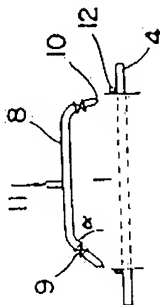
(72)Inventor : IWANAMI AKIRA

(54) PREVENTION OF SPREADING OF COATING LIQUID TO REAR SIDE WITH BAR COATER

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve considerably production efficiency and product yield by disposing air nozzles above a leveling bar and blowing air to the wells of the coating liquid on the leveling bar formed at both ends of a sheet-shaped material.

CONSTITUTION: An air pipe 8 is disposed right above a bar 4 above a sheet 1 and nozzles 10 facing downward toward the outside are connected at 5W80° angle to both ends of said pipe via valves 9. A copper pipe having ≤ 10 mm diameter is used for the nozzles 10. The nozzle of which the aperture is crushed flat to have a laterally long slit shape sized at about 1mm in the vertical direction is used. Air is forcibly fed through an air feed port 11 into the pipe 8 and is blown from the nozzles 10 into a downward direction. When such air is blown to the wells 12 of the coating liquid formed above the bar 4 at both ends of the sheet 1, the spreading of the coating liquid to the rear side on top of the sheet is prevented.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 昭60-61079

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)4月8日

B 05 D 1/28
3/647049-4F
7048-4F

審査請求 有 発明の数 1 (金4頁)

⑮ 発明の名称 パーコーターにおける施工液漏れ防止方法

⑯ 特 願 昭59-170038

⑰ 出 願 昭59(1983)9月14日

⑱ 発 明 者 岩 波 明 東京山手東平1551

⑲ 出 願 人 山陽産業パルプ株式会社 東京都千代田区九の内1丁目4番5号
社

⑳ 代 理 人 弁護士 奥 清 治

明 細 書

1. 発明の名称

パーコーターにおける施工液漏れ防止方法

2. 特許請求の範囲

1. 走行するシート状物の下面にカラーロールを介して施工液を塗布し、シート状物の施工面に塗布する均らしバーで余分な施工液をかき落とすようにしたパーコーターにおいて、上記均らしバーの上方にエアノズルを配置し、シート状物の両端部に生ずる均らしバー上の施工液の漏れに対してエアを吹付け、これを閉鎖とするパーコーターにおける施工液漏れ防止方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は紙又はプラスチックフィルムなどのシート状物（以下シートという）にパーコーターで施工する際、施工液がシートの両端と両側の面にこぼれるのを防止する方法に関するものである。

シートに別の施工液を付与するためロールコート、エアナイフコート、ブレードコートあるいはパーコーター等の施工装置により各層の施工工程の施工が行われている。これらの施工工程で発生する問題としてシートの両端部で発生する施工液漏れがある。即ちシートの両端部で施工液が漏れた場合、該施工液が両端よりはみ出して更には施工面と反対の面にこぼれ、施工液面あるいはそれに引続く乾燥痕跡を有することになる。この漏れは更に紙面の汚損にとどまらず連続して流れているシートにも影響して紙面破の恐れ又はフロッキングを引起す。このため前記に於ける両端の停止閉鎖の両端部の一定中に施工しない部分を設けることも行われているが、いずれにしても両端部、端部部破りに否しい影響を与えていた。

本発明はパーコーターにおける上記問題の解決を図るべく鋭意研究した結果完成したものである。

一般にパーコーターにおいては第1層に示す如く、シート1にカラーロール2を介して施工液3

特開2006-61879(2)

を施工し、尚ほしパー４により余分な施工量を抑制し、かつ施工面を均一にしている。従来シート両側面より施工面の裏まわりの縁部はカラーロールにあると考えられその対策が行われてきた。例えばシート両側面に相当するカラーロールにドクター７又はベルトを付けてシート両側面の一定巾部分に施工面の施工を行わないようにしてきた。しかるにかゝる余分の技術では施工面の裏まわりは防止できてシートにその片側に付き15mm程度の未施工部分をつくるためその部分は最低ロスとなる。そこで上記のドクター又はベルトを付けない場合シートの両端上側面へ施工面が裏まわりする縁部について従来した状態、本発明者はその発生原因が均らしパーのところにあることを発見した。

即ち、均らしパーで均等の施工面をかき出す際、シート両端を外れた状態でパーに施工面の裏りができ、これがシートの反対面へ侵入して施工面の裏まわりを起すことを数回し、この施工面のパーでの裏りを能く止めたため本発明方法を発見した。

のである。

即ち、本発明の要旨とする所は進行するシート状物の下面にカラーロールを介して施工面を形成し、シート状物の施工面に於ける均らしパーで余分な施工面をかき出すようにしたパーコーターにおいて、上記均らしパーの上方にエア吹付け装置を配置し、該シート状物の両側面に生ずる均らしパー上の施工面の裏りに対しエアを吹付けることを特徴とするパーコーターにおける施工面を均らし防止方法に係わるものである。

本発明の要旨に当ってはシートの両側面若しくは両側面が必ずしも一定でないで位置及び角度が自由に選定できるエアノズルをシート両側面に設けて、それよりエアを吹付け均らしパーでの施工面の裏りを防止するのが有利である。

本発明に係るエアノズルの材質は特に限定はされないがゴム、プラスチック又は金属の鋼又は異種合金でフレキシブルなものが好ましい。

本発明に係るエアノズルをシート両端両側に設置し両側面におけるパーでの施工面の裏りに

対しエアを吹付けた結果、従来のような施工面を均しは全く発生しなかった。従来のカラーロールでのドクターを外し、パーにおけるエア吹付けのみで施工面の裏まわりを防止することによって、

次に本発明の要旨に当ってはシートの内側に外向きにもエアノズルを設置し、内側より外向きに均らしパー上の施工面の裏りにエアを吹付け、その際のノズルのシート上側に對する角度は5〜40°の範囲が望ましい。又、施工面の裏まわりを完全に防止するため上記のエアノズルは横方向に傾斜角度調整するがよいが、1回のエアノズルの開口部を横方向に互いスリット状のものにしてよい。

以下に本発明を簡単に示す実施例によって説明する。

第1図はパーコーターを示すが、図面においてシート1はカラーロール2上に連続進行する際に施工面3がカラーロールを介してシート1の下側に施工され、即ちパーホルダーで支持された

均らしパー4上を連続進行すると共にシート下側に付着した余分な施工面をかき出すと共にその施工面を均一に均してからターンロール5を経てシートを送り出している。7はドクター6を示す。

尚、図面ではカラーロール2の図面はシート1の送り方向に好し左利きになっているが、カラーロール2の図面をシート1の送り方向と同一方向としてもよい。

本発明は第2図に示すようにシート1の上方でパー4の直上にエアパイプ8を配設し、その両側に穴あけ部9を介して下方外向きのノズル10を設けているがそのノズル内径は5〜40°の範囲で調整の角度に決定される。

又、ノズル10には直径10mm以下の開口パイプを用い、その開口を平らにつぶし上下方向約1mm程度の傾斜のスリット状としたものが好ましい。

エア出入口11よりエアパイプ8に空気を送込みエアノズル10より下方外向きにエアを吹出し、これをシート1の両側に均らしパー4の上方に生じた施工面の裏り12に吹付けるところ、施工面のシ-

ト上面への積まわりが防止できた。

本発明による施工促進まわり防止方法により、従来の問題となっていたパーコーター設置の得れが防止できて、紙張の汚れの防止による設備の停止、シートの汚れによる不良品及びブロッキングが大幅に改善できた。更に従来のシート両端部でのトラブルを避けるため、両端部の非施工部分をかなり多く残していたがこれについてもかなり縮小できた。従来 815mm 巾の製品を得るのに 819mm 巾の紙張を使用していたが、これが 815mm 巾の紙張使用に取得できた。

かくしてパーコーターによる施工において生産効率及び製品歩留りを大幅に向上することができた。

4. 図面の簡単な説明

第1図はパーコーターの全体斜視図であり、第2図は本発明方法の實施例を示した展開説明面である。

1. シート

2. カラーロール

特開昭60-61079(3)

3. 施工室

4. 押出しバー

14. エアノズル

12. 施工後の様子

代理人 森田士 氏 監 査 人



特許庁長官 特許出願 第170038号 図 1

昭和59年1月17日

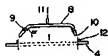
特許庁長官 特許出願 第170038号 図 2



第 1 図



第 2 図



1. 出件の特示

昭和59年 特許出 第170038号

2. 発明の名称

施工促進まわり防止方法

3. 修正する箇所

特許出願人

住 所

東京都千代田区丸の内1-4-5

名 称

(234) 住友建設/ユア株式会社

4. 代理人

住 所

東京都千代田区丸の内1-4-5

名 称

住 所 東京都千代田区丸の内1-4-5

名 称

(6346) 住友建設/ユア株式会社

5. 修正の範囲

明細書の発明の要旨の欄および特許請求の範囲の欄

6. 修正の内容

図面のとりか



消防法69- 61073(4)

補 正 の 内 容

1. 明燃集における炭粉の名称を

トコラミミツリ バツラミツツリ

「炭工炭集まわり防止万画」と訂正。

2. 炭粉炭集の炭粉の塊を下記の如く訂正。

炭粉炭集の炭粉

1. 進行するシート状物の下側にカラーロールを介して炭工炭集を導出し、シート状物の炭工炭集に接触する均ラシバーで余分な炭工炭集をかき落とすようにしたバーコクターにおいて、上記均ラシバーの上方にエアノズルを配出し、該シート状物の内端部に接する均ラシバー上の炭工炭集の破りに対しエアを吹付けけることを特徴とする炭工炭集まわり防止万画。